

## 第 28 回 THE I CUP (ジアイ・カップ) 帆走指示書 (SI)

場 所 兵庫県立海洋体育館(芦屋マリンセンター)  
〒659-0032 兵庫県芦屋市浜風町 30-2  
[TEL:0797-32-2255](tel:0797-32-2255)  
URL : <http://ashiyamarine.sakura.ne.jp/top.html>

期 日 令和元年 5 月 18 日 (土) ~19 日 (日)

主 催 日本レーザークラス協会、レーザー芦屋フリート

協 力 奈良県セーリング連盟、レーザー芦屋フリート、芦屋ヨットクラブ

### 1 規則

- 1.1 セーリング競技規則(2017-2020)に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P は適用しない。

### 2 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示する。

### 3 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書の変更は、それが発行する当日のスタート予告信号 60 分前までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 18:00 までに掲示する。

### 4 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、大会本部近くのポールに掲揚する。
- 4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の 1 分を「60 分以降」と置き換える。

### 5 レース日程

- 5.1 レース日程とレース数  
5 月 18 日 (土) ~5 月 19 日 (日) 各クラス最大 5 レース実施する
- 5.2 各日の最初のレース予告信号予定時刻  
5 月 18 日 (土) 10:55  
5 月 19 日 (日) 10:25
- 5.3 5 月 19 日 (日) は、14 時より後に予告信号は発しない。
- 5.4 一つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響信号 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

## 5.5 ブリーフィング

5月18日（土）は9：30より、5月19日（日）は9:00より大会本部にてブリーフィングを行う。

## 6 クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

- ・レーザースタダードクラス : 白地に赤のレーザマーク
- ・レーザラジアルクラス : 緑地に赤のレーザマーク
- ・レーザ4.7クラス : 黄地に赤のレーザマーク

## 7 レース・エリア

【添付図A】に、レース・エリアの位置を示す。

## 8 コース

- 8.1 【添付図B】の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会の信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 8.3 帆走するコースを表すコース信号は次のとおりとし、予告信号と同時に掲揚し、スタート信号と同時に降下する。

コース	コース信号
トライアングル・コース	数字旗 1
ソーセージ・コース	数字旗 2

## 9 マーク

- 9.1 マーク1、2及び3は黄色の三角錐ブイとする。
- 9.2 マークHはピンク色の円筒形ブイとする。
- 9.3 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会の信号艇とポートの端にあるレース委員会の運営艇とする。
- 9.4 フィニッシュ・マークはスターボードの端にあるオレンジ色旗を掲げたレース委員会艇と、ポートの端にあるオレンジ色の円筒形ブイとする
- 9.5 SI 11 に規定する新しいマークは赤色の三角錐ブイとする。
- 9.6 マークA（4.7クラスの第2風上マーク）は、緑色の円筒形ブイとする。

## 10 スタート

- 10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 10.2 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなけ

ればならない[DP]。

- 10.3 スタート信号の4分より後にスタートする艇は「スタートしなかった」と記録される。この項は RRS 付則 A4 を変更している。
- 10.4 RRS 30.4 に規定されたレース委員会の掲示は、レース委員会信号艇のスターン掲示板に掲示する。

## 11 コースの次のレグの変更

- 11.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し、実行できれば、直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 12 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

## 13 タイム・リミット

- 13.1 タイム・リミット及びフィニッシュ・ウインドは次のとおりとする。

	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウインド	ターゲット・タイム
レーザ級				
レーザラジアル級	60分	25分	15分	40分
レーザ4.7級				

- 13.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマークを通過しなかった場合、レースを中止する。
- 13.3 RRS30.3及びRRS30.4に違反しないでスタートした先頭艇が、コースを帆走してフィニッシュから起算されるフィニッシュ・ウインド内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』と記録される。この項は RRS35、A4 及び A5 を変更している。
- 13.4 各クラスのターゲット・タイムどおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 62.1(a)を変更している。

## 14 抗議と救済要求

- 14.1 抗議書は、レース・オフィスで入手できる。抗議、および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出されなければならない。
- 14.2 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告を掲示する。

- 14.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 14.5 SI 10.2、16、17.2、17.3、18 及び 20 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、RRS 60.1(a)を変更している。

## 15 得点

- 15.1 本大会は 5 レースを予定し、最小 1 レースをもって成立する。
- 15.2 完了したレースが 3 レース以下の場合、艇のシリーズ得点はレース得点の合計とする。4 レース以上完了した場合は、艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。この項は RRS 付則 A2.1 を変更している。

## 16 安全規定

- 16.1 出艇申告と帰着申告は、サイン方式とする。各艇は毎日、出艇前に大会本部の所定の用紙にサインして出艇し、かつ、着艇後当日の抗議締切時刻以前にサインしなければならない。
- 16.2 リタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。
- 16.3 レース委員会は危険な状態にあると判断したレース艇に対し、リタイアの勧告及び強制的な救助を行うことができる。
- 16.4 艇は直径 6mm 以上長さ 5m 以上のバウラインを搭載し、その一端はバウアイに結び付けられていなければならない [DP]。
- 16.5 マストトップに脱着可能な浮力体を取り付けてもよい。形状は球体に限り、1カ所のロープでとり付けなければならない。コンディションにより、付けたり外したりしてもよい [DP]。
- 16.6 SI 16.1 の申告に関する手続きに誤りがあった艇に対して、レース委員会は審問なしに「PTP」と記録し、確定順位+3 点の得点を与える。ただし、当該種目参加艇数+1 点を上回らない。これは RRS 63.1 及付則 A4、A5 を変更している。なお引き続きレースが行われた場合には、出艇申告に係る手続きの誤りについてはその直後のレースに、帰着申告に係る手続きの誤りについてはその直前のレースに、それぞれペナルティーを課すものとする。

## 17 乗員の交代と装備の交換

- 17.1 競技者の交代は、許可されない。
- 17.2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない[DP]。
- 17.3 交換の要請は、最初の妥当な機会に、レース委員会に行わなければならない[DP]。

## 18 装備と計測のチェック[DP]

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。

## **19 支援艇[DP]**

支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

## **20 ごみの処分**

RRS 55 に加え、ごみを支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

## **21 賞**

各クラス成績上位者を表彰する。

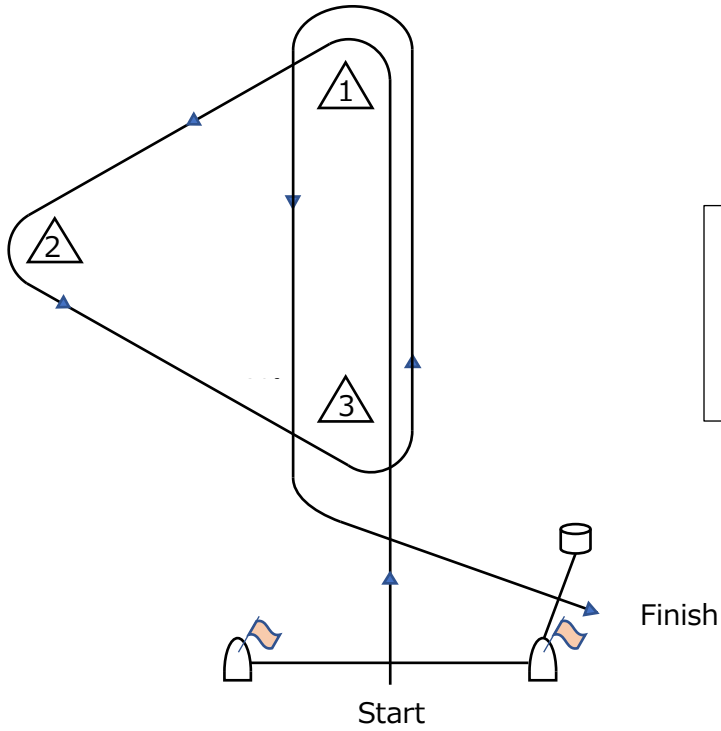
## **22 責任の所在**

競技者は自身身の責任で参加する。RRS 4『レースをすることの決定』参照。主催団体は、大会前後、期間中に生じた物理的損害または身体傷もしくは死亡によるいかなる責任も負担しない。

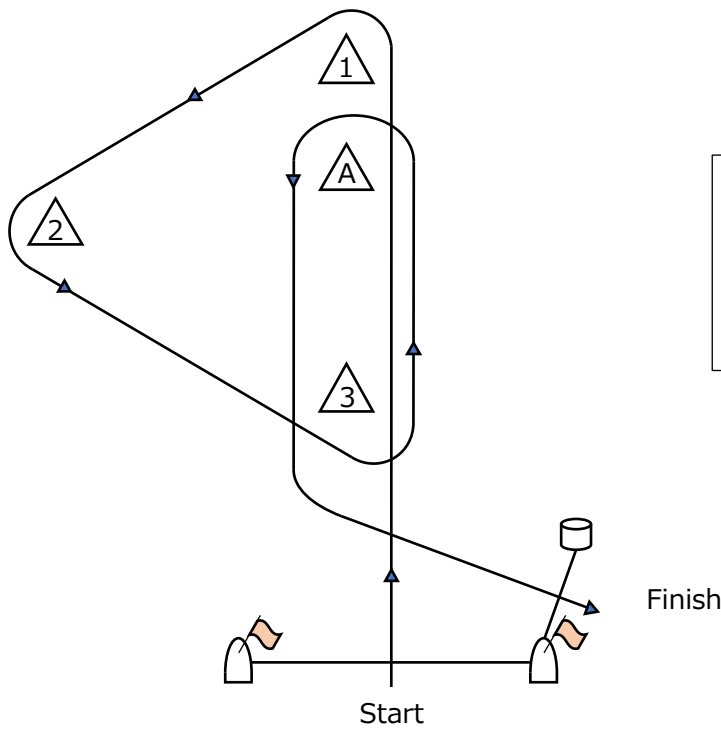
【添付図A】レース・エリア



【添付図 B】コース図 1 : トライアングル・コース

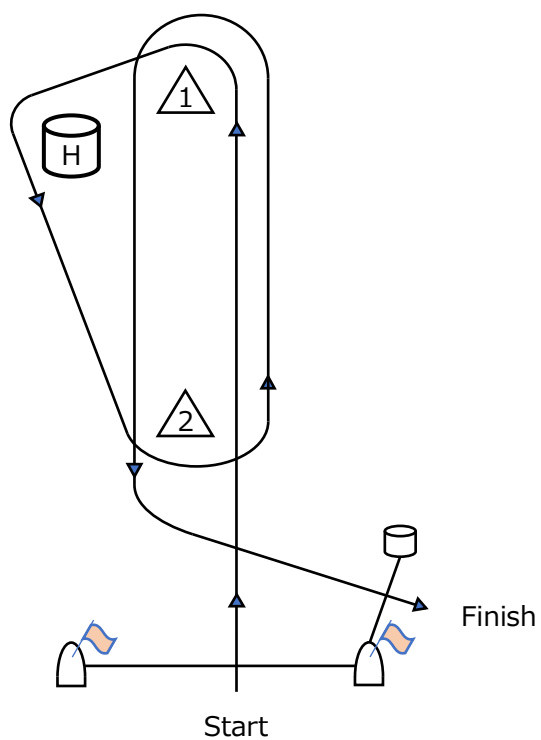


スタンダードクラス・ラジアルクラス  
Start→1→2→3→1→3→Finish



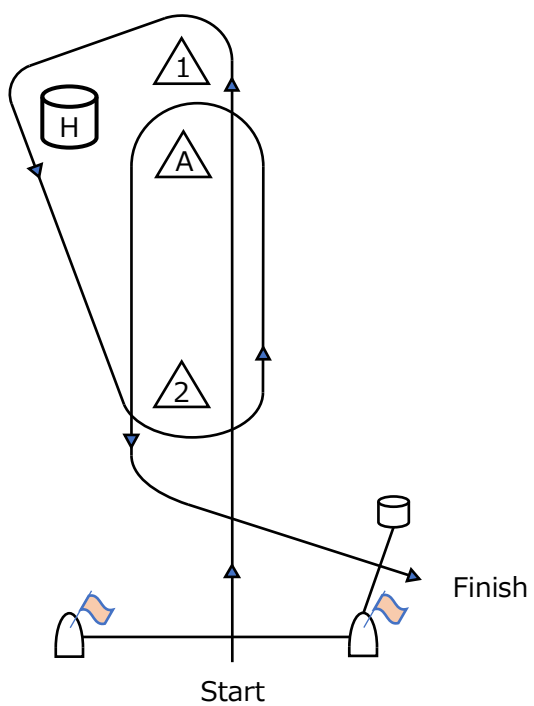
4.7 クラス  
Start→1→2→3→A→3→Finish

コース図 2 : ソーセージ・コース



スタンダードクラス・ラジアルクラス

Start→1→H→2→1→2→Finish



4.7 クラス

Start→1→H→2→A→2→Finish